

患者さまへ

「当院における逆行性急性 A 型解離に対する術式選択と遠隔期治療再介入症例の検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2014 年 1 月から 2023 年 7 月までに当院で逆行性 A 型解離(エントリーが弓部大動脈以遠に存在し、逆行性に上行大動脈まで解離を生じているもの)に対し上行大動脈人工血管置換術の手術を受けられた方
2 研究目的・方法	逆行性 A 型解離に対する初回手術については、施設間で術式選択が様々ですが、当院では entry resection(大動脈解離の裂け目の始まり部分を切除範囲に入れ、人工血管置換術を行うこと)を基本とし、不可能な場合の術式は、全例上行大動脈人工血管置換術としています。近年、他施設で長期予後の観点から全弓部置換術などの拡大手術を行う施設が増加傾向にあり、実際に上行大動脈人工血管置換術に留めた場合に遠隔期の再介入率が増加する可能性があるかどうか比較したいと考え、逆行性 A 型解離の初回手術として、上行置換を選択した場合の、当院の手術成績とその妥当性について検討することとしました。具体的には、周術期死亡率や再手術回避率を検討し、より適切な逆行性 A 型解離の術式を考察、実施します。 研究の期間:施設院長許可(2023 年 12 月予定)後～2024 年 3 月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	情報:年齢、性別、身長、体重、病歴、再介入手術等の発生状況 等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 濱 大介 湘南鎌倉総合病院 心臓血管外科 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717

2023 年 11 月 2 日作成(第 1.0 版)